

(予定)

(仮称)九州建設経営大学院大学 設立趣意書

我が国の国民の生命と財産は、技術立国日本が培ってきた建設に関する技術で支えられています。異常気象や地震等による度重なる大災害が起きようとも、安心・安全な国土を維持できているのは、その技術のお陰であると考えましょう。

ITの普及やAI化が進む情報社会では、その技術も技術者独占のものから既に一般化し広く普及するものとなっています。次世代の社会へ安心・安全な国土を維持、発展させていくためには、これまでとは異なる想定外の危機や今後更に訴求することが予想される課題を想像(イメージ)し、そこから新しい技術を生み出す創造(クリエイション)が求められます。そのためには、これまでの知識の修得はもとより、その知識を意識に変え、その意識を考働に変え、その考働を期待される結果に結びつけることの出来る技術力と経営力に優れた人財の育成が不可欠であると思料されます。

(仮称)九州建設経営大学院大学は、そうした人財の

- ・可能思考の修養
- ・進る情熱
- ・絶えざる努力

の3つを重んじた可能思考者の育成を目指して設立するものです。

令和2年6月29日

(仮称)九州建設経営大学院大学設立準備委員会
委員長 阿比留孝行

2023年春 「経営の解る技術者」 を送り出す 大学院開校



(仮称)九州建設経営大学院大学



(仮称) 九州建設経営大学院大学

2023年春の開校を目指し、文部科学省への認可申請に向けて必要な作業を進めています。

(仮称)
九州建設経営大学院大学の概要

- 名称：(仮称)九州建設経営大学院大学
- 設置専攻：建設経営研究科
- 学位：修士(専門職)
- 修業年限：2年
- 学生定員：1学年25名、定員50名
- 開校予定日：2023年4月(予定)
- 設置者：一般社団法人考働経営研究所

1 当大学院は「専門職大学院」です。

専門職大学院とは、科学技術の進展や、社会・経済のグローバル化に伴う、社会的・国際的に活躍できる高度専門職業人を養成する課程です。専門職大学院は2003年度に創設された制度で、2020年5月現在、全国に118校在します。

2 「経営の解る技術者」を養成し、新しい社会を創るリーダーを輩出します。

安心・安全な国土を維持し形成していくには、これまでとは異なる課題を想像(イメージ)し、そこから新しい技術を生み出す創造(クリエーション)が求められます。そのために、知識を意識に変え、その意識を考働に変え、それを期待される結果に結びつけられることの出来る技術力と経営力に優れた人財を育てます。

3 修了すると「修士(専門職)」が得られます。

標準修学年限は2年です。その間に30単位以上を取得することにより、修士号(専門職)学位を取得することができます。

4 一定期間の実務経験を積んだ高校卒業者にも入学資格があります。

4年制大学卒業者はもとより、高校卒業者等も一定期間の実務経験を条件に入学することができます。

5 働きながら学べるカリキュラムです

授業は土曜日を中心に、リモート授業や集中講座等で構成します。働きながら、建設技術者としてのスキルアップ、建設分野の事業で活躍することを目指す経営者としてのノウハウを身に付けることができます。

6 「技術系講座」「経営系講座」「総合系講座」で経営の解る技術者を養成します。

授業は、専門的な技術知識を学ぶ「技術系講座」、その技術を経営に活かすための「経営系講座」、そしてその両者を総合力化するための「総合系講座」を以って構成していきます。



7 「実績ある学者」、「活躍中の実務者」等幅広い教師陣で、先端的な授業を行います。

教師陣には、建設系の学者を軸に、建設業界の経営者、経営等に見識を有する実業者等を幅広く集め、各教師の専門を活かし、先端的な授業を構成します。

学長には、長きに渡り土木分野を牽引する小松利光(九州大学名誉教授)が就任予定です。



学長就任予定：小松利光
・1948年生まれ
・九州大学名誉教授
・水工学、防災学

8 キャンパスは博多駅前です。

本大学は、JR博多駅から徒歩5分、福岡市営地下鉄祇園駅から徒歩30秒という好立地に在ります。また、周辺には飲食店やコンビニが集まり利便性に富みます。

6階建のキャンパスには、ゆっくりと勉強できるカフェ風の自習室等も備えています。

大学キャンパス外観



講義室



自習室

